

550. 378 : 551. 782(521. 73)550. 835

### 京都府中郡峰山町・竹野郡網野町地域の放射能強度について

塚脇 祐次 宮村 学

今回調査研究を行なった京都府中郡峰山町および竹野郡網野町地域(5万分の1地形図, 宮津・網野・城崎)は放射能異常の認められている竹野郡弥栄町等楽寺・須川両地区の南西15~20kmの地域で, これらとほぼ類似の地層と考えられている。調査に使用した放射能測定器はDC-P-3 M型ガイガーカウンターである。調査地の地

質は粗粒黒雲母花崗岩・花崗閃緑岩およびこれらを被覆する新第三系の砂岩泥岩層・安山岩質凝灰岩および砂丘からなる。これら各種堆積岩類の黒雲母花崗岩との不整合面を追跡し, その放射能強度を測定したが著しい異常はみとめられなかつた。(大阪駐在員事務所)

550. 378(521. 75) : 550. 835

### 兵庫県加東郡滝野町および西脇市地区の放射能強度について

塚脇 祐次\* 港 種雄\*\*

この調査研究は兵庫県加東郡滝野町および西脇市地区(5万分の1地形図, 北条)の石英粗面岩類を基盤として堆積した地層の放射能異常を調査したもので, 使用した放射能測定器はDC-P-3型ガイガーカウンターである。調査地の地質は石英粗面岩類を基盤としてその上に

堆積した大阪層群の礫・砂・シルト・粘土および段丘層からなり, これら各種堆積岩類の石英粗面岩類との不整合面を追跡し, その放射能強度の測定に重点をおいたが, 著しい異常はみとめられない。

(\*大阪駐在員事務所 \*\*京都大学)

550. 378 : 551. 76(521. 77) : 550. 835

### 和歌山県日高川流域の放射能概査

稲井 信雄\* 下坂 康哉\*\*

和歌山県下をほぼ東西に走る時代未詳中生層に属する日高川統は幅15~20kmをもち, 日高川流域に発達する地層である。筆者らは堆積岩ウラン調査の一部として, この日高川統に対し放射能概査を行なった。調査に際しては東西に幅広い地層に対しほぼクロスするルートとし

て金屋町から日高川に沿う竜神村福井に至る県道を選び, このルートに沿う露岩に対し放射能異常を測定した。その結果はいずれも自然計数の1.5倍(±)程度で岩質別にも, 地層別にも特に高い放射能異常は認められなかつた。(\*大阪駐在員事務所 \*\*名古屋駐在員事務所)

550. 378 : 551. 782+552. 3(522. 6) : 550. 835

### 大分県大分郡野津原町・南庄内町付近における 新第三系の放射能強度について

古川 俊太郎

大分市の南西部には古期花崗岩類・古生層を基盤として新第三紀層が広く分布発達している。この新第三紀堆積岩層を主体としてその周辺の各種岩石・岩層における放射能強度調査を行なった。調査にはDC-P5型 Scin-

tillation counter を使用した。その結果当地区内の放射能強度はいずれも自然計数と大差なく, 異常地点は認められなかつた。(福岡駐在員事務所)

550.378 : 551.782+552.3(522.6) : 550.835

### 大分県大野郡緒方地区放射能強度分布調査報告

清島 信之 古川俊太郎

大分・宮崎県境をなす祖母山・傾山の北麓、大分県大野郡緒方町地区について新第三系分布区域および第三紀中新世以後の貫入にかかわる花崗岩類の鉍化区の一部を対象として放射能強度分布概査を行なった。

前者では砂岩・頁岩互層中のセリサイト化帯で一部に自然計数の約3倍を示す微弱な異常個所を認めたが連続性はなく、後者についても何ら放射能異常は認められなかった。(福岡駐在員事務所)

550.378 : 552.3(522.7) : 550.835

### 宮崎県東臼杵郡北方村上鹿川地域の放射能調査報告

清原 清八 村上 篁

昭和38年度のカーボン調査の際、やや高い数値を示したのでその状況を調べるために実施したのであるが、注目されるような放射能異常は認められなかった。当地域は花崗岩地帯で、その上に砂礫層の発達がある。その

砂礫層を重点的に調査したが、測定の結果は花崗岩中のアプライト岩脈より低い値を示した。測定器は、TCS-121型 Scintillation counter を使用した。

(福岡駐在員事務所)